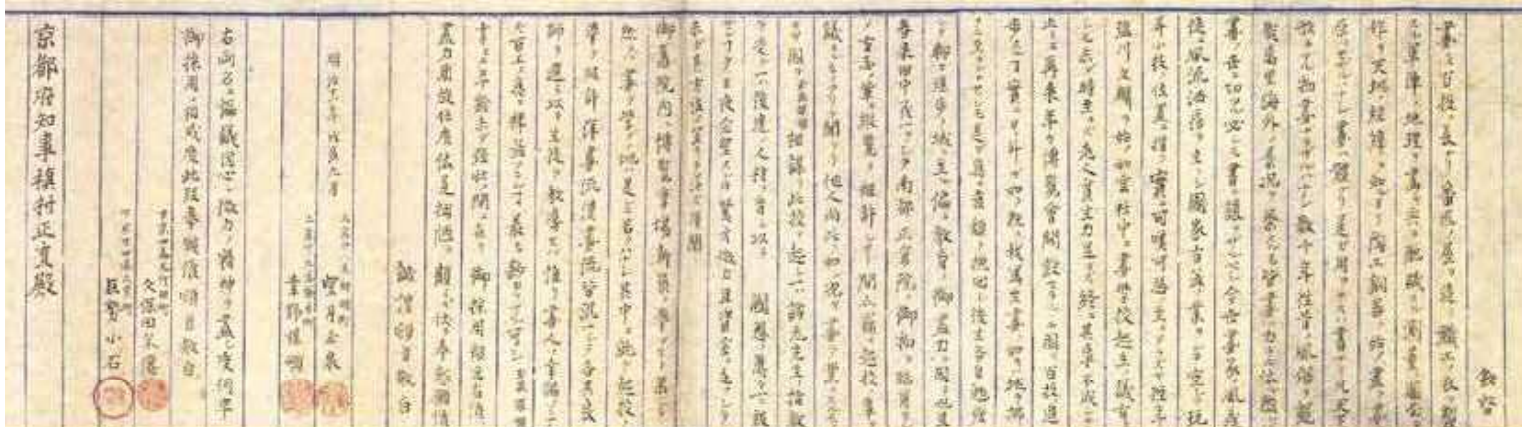




令和2年 2月1日(土)
 京都市立芸術大学
 京都市立銅駝美術工芸高校の
 ルーツ，日本初の公立画学校。

— 4月7日(火) —

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：毎週水曜日(祝日の場合は翌平日)

入館料：大人300円 小・中・高生100円

団体(20人以上)の場合は大人240円 小・中・高生80円

※市内の小・中学生は土・日曜日入館無料



京都市学校歴史博物館

Kyoto Municipal Museum of School History

京都府 画学校 への道

開校140周年記念企画展



京都府画学校への道

明治13 (1880) 年, 日本初の公立美術学校となる京都府画学校が開校しました。

令和2 (2020) 年はそれから140周年の節目に当たります。

それを記念して, この度京都市学校歴史博物館では, 京都府画学校と, その開校の背景となった明治前期の京都画壇の様相を振り返る企画展を行います。

明治の初め, 京都の画家たちにとって最も切実な課題は, 京都美術界の復興でした。

幕末からの戦災や遷都により, 画壇は疲弊し衰退の一途をたどっていました。

そうした状況に対し, 当時若手の新鋭画家であった幸野樸嶺や久保田米偲らは, 絵画制作の体制を近代化し, 新機軸の表現を生み出そうと画策することで, 復興への道を模索します。

その成果のひとつが, 日本初の試みとなった京都府画学校の設立です。

それは, 新時代の開化の風潮のなか, 京都において日本画と近代教育が初めて出会った出来事でした。

この明治の画家たちの挑戦は, 現在まで続く京都の美術界の発展の礎となりました。

本展では, 明治期京都画壇の画家たちが, 絵画制作の近代化への模索から, 教育に希望を見出し, 画学校という近代組織を画策するに至る道程を振り返ります。画学校開校に関する資料や, 教材となった手本類, 画家たちの絵画作品などを展示し, 京都府画学校の意義を再確認します。



久保田米偲



幸野樸嶺



①



②



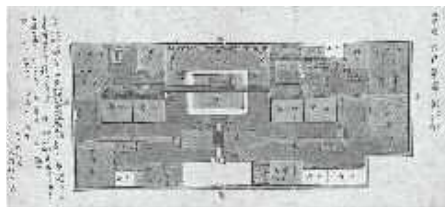
③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

- ①森寛斎「高土親瀑図」明治4年 個人
- ②幸野樸嶺「龍馬負河図」明治13年
京都市立芸術大学芸術資料館
- ③西川桃嶺「花龍図」明治～大正期 個人 (表紙下部)
- ④「画学校開学建議書」明治11年
京都市立芸術大学芸術資料館(表紙上部)
- ⑤池田雲樵「絵手本(人物十八描法 鉄線描)」明治期
- ⑥「画学校建築図」明治11年 京都市立芸術大学芸術資料館
- ⑦久保田米偲「秋江垂釣図」明治25年 個人
- ⑧鈴木百年「風雪三顧図」明治期 個人
- ⑨田村宗立「琵琶湖疏水工事図巻 隧道掘鑿」明治20年
京都市上下水道局



※駐車場はありませんので, 公共交通機関をご利用ください。

阪 急…京都河原町駅 徒歩約10分 10番出口「藤井大丸口」から南西へ
京 阪…祇園四条駅 徒歩約15分 3番出口から南西へ
地下鉄…烏丸線四条駅 徒歩約12分 5番出口から東へ
市バス…四条河原町 徒歩約10分 南西へ
市バス…河原町松原 徒歩約 5分 北西へ



京都市学校歴史博物館
Kyoto Municipal Museum of School History

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町437
TEL.075-344-1305 ※水曜休館

●この印刷物が不要になれば, 「雑がみ」として古紙回収へ

学校歴史博物館 検索

関連講演会日程 いずれも14:00~15:30

・2月16日(日)

「京都府画学校の歴史」

講師:松尾芳樹(京都市立芸術大学芸術資料館学芸員)

・2月29日(土)

「画家たちが目指した京都府画学校」

講師:森光彦(京都市学校歴史博物館学芸員)

・3月22日(日)

「画家はどのように絵を学んできたか

—近世から近代へ—

講師:田島達也(京都市立芸術大学教授)

・4月4日(土)

「京都府画学校設立の立役者 幸野樸嶺」

講師:多田羅多起子(京都造形芸術大学非常勤講師)

■各日とも

会場:京都市学校歴史博物館 聴講料:無料(別途入館料が必要)

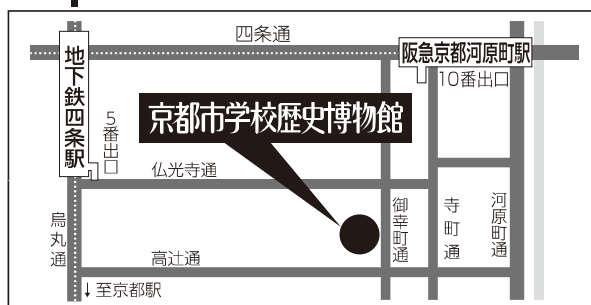
受付:当館への電話(075-344-1305),FAX(075-344-1327),

Eメール(rekihaku-jigyuu@edu.city.kyoto.jp)

※講演会名,氏名,連絡先電話番号を明記。

定員:各60名 ※定員に達し次第受付終了

申し込み期間:2月1日(土)~各講演会前日まで



※正門(御幸町通側)からお入りください